

小惑星

「Minamiaizumachi」誕生！！

宇宙に「南会津町」という名前
の星が生まれました。子どもから
大人まで、町のみんなが誇らしく
なるニュースです。

町の名前が「星の名前」に

美しい星空を活かした町づくり
を続けてきた南会津町の名前が、
国際天文学連合（IAU）によっ
て小惑星の正式名称として登録さ
れました。宇宙に「南会津町」と
いう名前の星が誕生したのです。
令和8年6月15日、IAU小惑
星命名作業部会から、小惑星のひ
とつに「Minamiaizum
achi」（南会津町）の名称が
付けられたことが発表されまし
た。

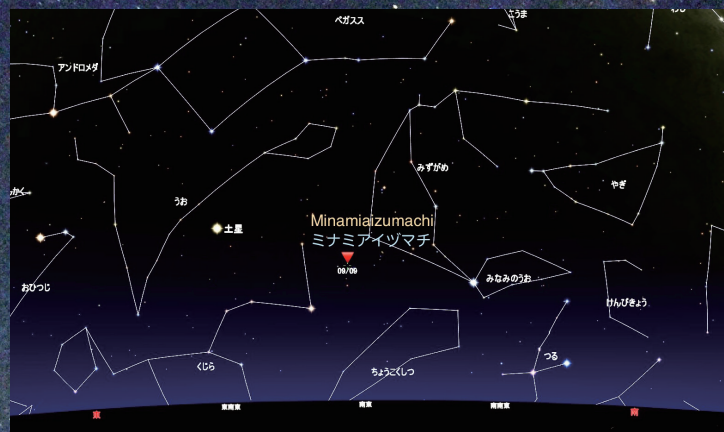
町の名を冠した小惑星が永遠に
宇宙をめぐる続けることになり、
南会津町の歴史に新たな一歩が刻
まれました。

小惑星 「Minamiaizu machi」

火星と木星の間には、太陽系誕
生の名残とされる岩石などの小さ
な天体「小惑星」が多数存在して
います。大きさは数cmから約1、
000kmまでさまざま、現在ま
でに約145万個が発見されてい
ます。現在も発見されていない小
惑星は無数にあり、地球に接近し
て衝突するものもあります。大気
との摩擦で明るく輝くと「火球」、
燃え尽きずに地上に落ちると「隕
石」になります。

南会津町に落下したと思われる
隕石も、発見されていなかった小
惑星のひとつです。もとの大きさは
直径十〜数十cmと推定されてい
ます。

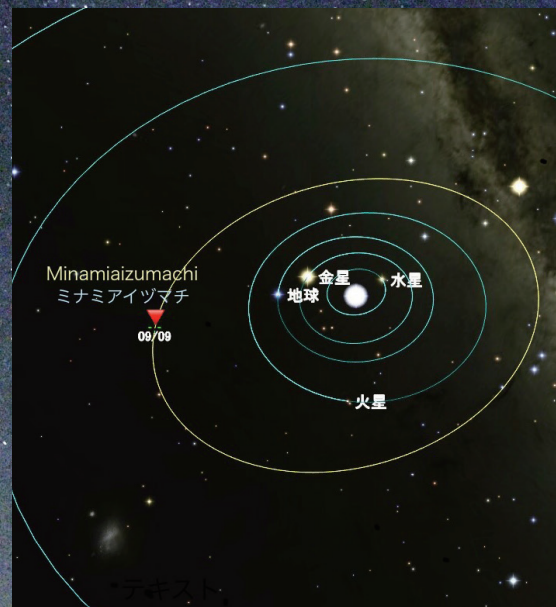
小惑星「Minamiaizum
achi」は現在地球から約2・
7億kmの距離にあり、残念ながら
肉眼では見えません。



令和8年9月9日午後9時ごろの位置予想
【StellaNavigator/ アストロアーツ】

今後に託す「隕石発見」の夢

南会津の夜空に舞い降りた大火
球。その感動を胸に、南会津ほし
ぞらの会では隕石捜索隊を立ち上
げ、雪解けの進んだ春山で延べ
280名が「星のカケラ」を探し
て歩きました。本捜索10回、親子
で楽しむ捜索2回。多くの足跡が
落下予想地域に刻まれましたが、
発見には至らないまま予定してい
た捜索は終了となりました。



令和8年9月9日の地球との位置関係
【StellaNavigator/ アストロアーツ】



渡部町長へ登録証を贈呈する大野裕明氏



新緑深まる中での捜索



第10回隕石捜索隊

南会津ほしぞらの会



◀ オープンチャット

Instagram ▶



星空を大切にしてきた町を評価

南会津町では、光害の少ない環
境を生かし、星空観望会や講演会
など、星空を楽しむ取り組みを続
けてきました。さらに昨年12月26
日には、大火球が町の上空に出現
し、県内初となる隕石発見を目指
して大規模な隕石捜索が行われま
した。

こうした星空への関心と活動が
評価され、今回の命名につながり
ました。

命名は、町の星空事業や隕石捜
索に深く関わっていたいた大野
裕明氏（田村市星の村天文台名誉
台長）が、北海道の友人から命名
権を譲り受けて提案し、IAUか
ら正式に認証されたものです。

7月16日には大野裕明氏から町
長へ、命名登録証が贈呈されまし
た。